

総合的な学習の時間

第3学年

竹原市立吉名学園

指導者 津川 はるか

吉名地域PRプロジェクト ～吉名のよさをPR動画で発信しよう！～

1 単元のデザイン

単元の目標

地域にあるものや人をフィールドワークやインタビューで調べ、見つけたよさを動画にまとめて発信することを通して、地域のよさと携わる人々の思いや願いを理解し、それが伝わるような構成やタイトルを考え、相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いて共感したりしながら、協力して活動を進めることができるようにする。

単元について

本単元の主な活動は、社会科の町探検を通して見つけた地域のよさを自分達の考えた方法で発信することである。

本単元の主な教材は「地域のよさ」と「PR動画」である。

「地域のよさ」を取り上げることで、児童が関心をもって地域の様々なものや人を調査し、インタビュー活動や写真・動画の撮影に取り組むことができる。その過程で、情報を収集する力を育てることができる。

「PR動画」は、児童が町探検で集めた情報をもとに、様々なものや人から感じた地域の魅力が伝わるように編集して作成する。集めた情報を、相手意識をもって整理し、発信することで、協力して活動を進めるよさに気付くとともに、地域の一員としての自覚を育てることができる。

SDGsの視点：11 住み続けられるまちづくり

本単元を通して、町探検やインタビュー活動を行うことは、自分が住む地域を知ることにつながる。

児童生徒の実態

本学級の児童は、第2学年時の生活科で行った町探検の学習の中で、身近なものや人について、実際に見たりインタビューをしたりして情報収集する力を身に付けてきている。また、グループ活動に協力して取り組むことができる。

ICT活用力については、これまでに写真撮影や手書き入力を使った簡単な文字入力の経験を重ねており、ChromebookなどのICT機器を使うことに親しんでいる。ローマ字の学習も進み、ローマ字入力で短い文を作成することもできるようになってきた。

プレゼンテーション力については、自分の思いを言葉で表現することが苦手な様子や、周りに伝えることに消極的な姿も見られ、相手意識をもって自分の考えを伝えることには課題がある。

指導の工夫

(1) プロジェクト型学習

本気になる課題設定となるように、竹原市の観光パンフレットに吉名町のことがほとんど掲載されていないという事実に気付かせ、課題意識を高めることができるようにする。

思いや願いに基づいた挑戦となるように、児童が調べた吉名町のよさを発信する方法は児童から出されたアイデアを採用し、児童が意欲をもち続けながら活動を進めていくことができるようにする。

高い壁との出会いや「本物」からの学びとなるように、地域のケーブルテレビの方に児童が制作した動画を見ていただき、専門家の視点から評価していただく。また、実際のPR動画を見る機会を設定し、自分達の制作した動画と比較して自己評価する場を設定する。

(2) ICT活用

本単元では、主に協働の場面でICTを活用する。具体的には、町探検やインタビューの際に、必要に応じてデジタルカメラやビデオカメラで撮影をしたり、動画編集ソフトを用いて集めた情報を共同編集しながら動画を作成したりする。

(3) シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の2つのシンキングツールを活用する。

- ① Xチャート ……吉名地域について知っていることを整理する場面で用いる。
- ② PMIシート ……活動の振り返りをする場面で用いる。

2 単元の評価規準及びルーブリック

評価の観点		S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(1) 知識・技能	ア 知識	地域のよさとそれが地域の自然や文化を生かしていること、携わる人々の思いや願い、抱える課題を理解している。 地域のよさなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域のよさとそれが地域の自然や文化を生かしていること、携わる人々の思いや願いを理解している。 地域のよさなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域のよさと携わる人々の思いや願いを理解している。 地域のよさなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域のよさと携わる人々の思いや願いを理解していない。 地域のよさなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いていない。
	イ 技能	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて2分間程度の動画を制作することができる。	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて1分間程度の動画を制作することができる。	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて30秒間程度の動画を制作することができる。	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて30秒間程度の動画を制作することができない。
(2) 思考・判断・表現	ウ 課題を発見する力 企画する力	調査活動やインタビューで得た情報や自分(達)の興味・関心、携わっている人々の思いや願い、吉名町が抱える課題とその背景を踏まえて課題を設定し、課題解決に向けて様々な企画(アイデア)を出している。	調査活動やインタビューで得た情報や自分(達)の興味・関心、携わっている人々の思いや願いを踏まえて課題を設定し、課題解決に向けて様々な企画(アイデア)を出している。	調査活動やインタビューで得た情報や自分(達)の興味・関心を基に課題を設定し、課題解決に向けて様々な企画(アイデア)を出している。	調査活動やインタビューを通して得た情報や自分(達)の興味・関心を基に課題を設定することができない。
	エ 活動を計画・推進する力	自分自身で、地域のよさを発信するために必要な情報とそれらを収集するための手段を考え、今後の活動計画を立てている。	教師や友達の助言を基に、地域のよさを発信するために必要な情報とそれらを収集する手段を考えている。	教師や友達の助言を基に、地域のよさを発信するために必要な情報を考えている。	教師や友達の助言を受けても地域のよさを発信するために必要な情報と考えられない。
	オ 情報を収集する力	地域のよさについて、相手の反応を見ながら、臨機応変にインタビューをしてより深い情報を聞き出し、情報の発信元や情報の真偽を確かめながら、図書資料やインターネットを使って調べたりして、多くの必要な情報を収集している。	地域のよさについて、事前に考えた質問項目を基に積極的にインタビューをしたり、図書資料やインターネットを使って調べたりして、多くの必要な情報を集めている。	地域のよさについて、事前に考えた質問項目を基にインタビューをしたり、図書資料やインターネットを使って調べたりして、必要な情報を集めている。	教師や友達から助言を受けても、情報を集められない。
	カ 整理・分析する力	様々な情報をシンキングツールにより比較・分類してそれぞれ場所のよさや共通点を見付けたり、情報を関係付けたりしている。	様々な情報をシンキングツールにより比較・分類して、それぞれ場所のよさや共通点を見付けている。	様々な情報をシンキングツールにより比較・分類して、それぞれ場所のよさを見付けている。	様々な情報を比較・分類できていない。
	キ 表現する力	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識して、構成や映像の組み合わせ、字幕などを考えながら、自分達で撮影した映像を使って動画を制作している。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識して、構成を考えながら、自分達で撮影した映像を使って簡単な動画を制作している。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識して、自分達で撮影した映像を使って簡単な動画を制作している。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識した簡単な動画を制作することができない。
	ク 発想する力 工夫する力	自分の力で動画の構成や字幕、BGMなどに自分なりの工夫を加え、さらにPRしたいことがよりよく伝わるように、表現方法の発想を広げている。	動画の構成や字幕、BGMなどに自分なりの工夫を加えている。	教師などの助言を基に、動画の構成や字幕、BGMなどに自分なりの工夫を加えている。	動画の構成や字幕、BGMなどに自分なりの工夫を加えていない。
	ケ 評価する力	お互いの発表や制作物に対し、よい点や改善点などを考えて伝え合うとともに、自己評価や他者評価を基に、よりよいものになるようにその都度改善している。	お互いの発表や制作物に対し、よい点や改善点などを考えて伝え合うとともに、自己評価や他者評価を基に、よりよいものになるように改善している。	お互いの発表や制作物に対して、よい点や改善点などを考えて伝えている。	お互いの発表や制作物に対し、よい点や改善点などを考えて伝えていない。他者の指摘を受けても、よりよいものになるように改善していない。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	コ 挑戦する力 やり遂げる力 (主体性)	課題の解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、実社会の厳しさに臨機応変に対応しながら、今の自分ができることを精一杯行うとしている。	課題の解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗しても進んで改善を図り、最後までやり切ろうとしている。	課題の解決に向けて、進んで挑戦し、失敗や困難に出合っても改善を図って再挑戦し、最後までやり切ろうとしている。	自分が決定した課題に進んで挑戦しようとし、失敗したらあきらめている。
	サ 協働する力 (協調性)	多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図りながら協力して活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら、よりよい解決方法を目指して活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら活動を進めようとしていない。
	シ 将来を設計する力	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めるとともに、今後やってみたいことなど、具体的な目標を抱き、計画している。	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めるとともに、今後やってみたいことなど、具体的な目標を抱いている。	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めている。	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めていない。

3 指導と評価の計画（全 50 時間）

時	学習活動	シンキング ツール	評価規準 (評価方法)
1	<ul style="list-style-type: none"> ●吉名町のよさを広めるとい課題を設定する。 ・竹原市の観光パンフレットに吉名地域がほとんど載っていない現状を知る。 ・吉名町のよさについて知っていることを出し合う。 ・吉名町のよさを広めるとい課題を設定する。 	Xチャート	(2)ウ (行動観察、 ワークシートの分析)
2 ～ 9	<ul style="list-style-type: none"> ●町探検をしたり、インタビューをしたりする。 ・探検するルートや時間配分を考えて、計画を立てる。 ・グループごとにインタビュー内容を考える。 ・町探検をして分かったことをメモしたり、気になった物などを写真に撮ったりする。 ・調べたことを振り返り、まとめる。 		(1)ア (2)エ (2)オ (3)サ (行動観察、 ワークシートの分析)
10 ～ 18	<ul style="list-style-type: none"> ●忠海学園の3年生と交流し、お互いの町を案内する。 ・町探検で調べたことを基に、グループごとに説明を考え、練習する。 ・忠海学園の3年生を吉名町に迎え、町を案内する。 ・忠海町に行き、忠海学園の3年生に町案内をしてもらう。 ・交流をして感じたことを振り返る。 		(2)カ (2)キ (3)コ (行動観察、 ノート・ワークシートの分析)
19 ・ 20	<ul style="list-style-type: none"> ●町案内を振り返り、次の課題を設定する。 ・吉名町のよさを伝えたい対象や伝える方法を話し合う。 	PMIシート	(2)ウ (2)ケ (ノートの分析)
21 ～ 32	<ul style="list-style-type: none"> ●PR動画を作成する。 ・グループごとによさを伝えたいものや人を決める。 ・グループごとにインタビューや撮影を行う。 ・動画に出したい場所や人の承諾をもらう。 		(1)ア (1)イ (2)エ (2)オ (3)サ (行動観察、 ノート・ワークシートの分析、 制作物の分析)
33 ～ 48 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ●アドバイスを基に動画を改善して完成させ、発信する。 ・撮影した動画をつなげただけの映像を見る。 ・地域のケーブルテレビの方に見ていただき、アドバイスをもらう。 ・簡単な絵コンテをつくる。 ・動画編集ソフトの使い方を知り、編集する。 ・オープニングやタイトルを考える。 ・できた動画を見てもらい、さらに目を引く動画にするためのアドバイスを受けて、手直しする。 ・吉名学園公式 YouTube に載せる許可をもらう。 		(2)キ (2)ク (2)ケ (3)コ (3)サ (行動観察、 ワークシートの分析、 制作物の分析)
49 ・ 50	<ul style="list-style-type: none"> ●活動を振り返る。 ・できるようになったことや今後取り組んでみたいことについてまとめる。 	PMIシート	(2)ケ (3)シ (行動観察、ノート・ワー クシートの分析)

4 本時について

(1) 本時の目標

自分達で撮影した動画を自己評価したり専門家からのアドバイスを受けたりすることを通して、吉名町のよさを伝える動画にするために足りない部分に気づき、自分の伝えたいテーマやメッセージを意識して工夫を考えることができる。

(2) 本時の評価規準及びルーブリック

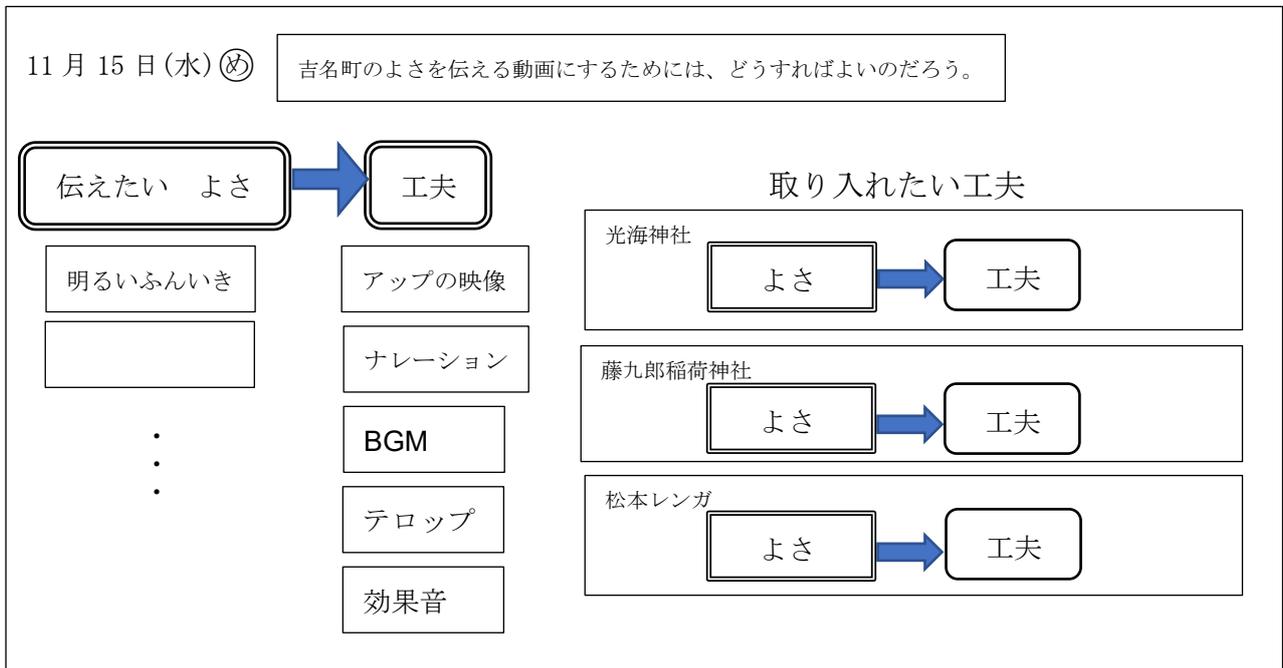
	S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(2)キ 表現する力	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識して、 <u>構成や映像の組み合わせ、字幕などを考えながら</u> 、自分達で撮影した映像を使って動画を制作している。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識して、 <u>構成を考えながら</u> 、自分達で撮影した映像を使って簡単な動画を制作している。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識して、自分達で撮影した映像を使って簡単な動画を制作している。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識した簡単な動画を制作することができない。
(3)サ 協働する力	<u>多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図りながら協力</u> して活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら、 <u>よりよい解決法を目指して活動を進めよう</u> としている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら活動を進めようとしていない。

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童生徒への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)
1 これまでの学習を想起する。	◇校外学習をした様子の写真などを提示し、これまでの学習を想起させる。	
2 各グループで撮影した動画をつなげただけの動画を見る。	◇各グループが撮影した動画を未編集の状態で見せることで、よさを伝えるためには動画を工夫する必要があることに気付くことができるようにする。	
3 本時の課題を設定する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 吉名町のよさを伝える動画にするためには、どうすればよいのだろう。 </div>		

<p>4 地域のケーブルテレビの方の話を聞く。</p>	<p>◇実際に番組制作に携わる方が制作した映像を見て、どのようなよさを伝えるためにどのような工夫をしたのかという話を聞くことで、動画制作への関心や意欲を高めるとともに、動画編集の具体的な視点をもつことができるようにする。</p>	
<p>5 自分達の動画に取り入れることができる工夫を考え、交流する。 (個→グループ→全体)</p>	<p>◆説明のあった工夫をカードで掲示しておき、自分のグループの動画に取り入れたい工夫を考える際に確認できるようにする。 (アップの映像・ナレーション・テロップ・BGMなど)</p>	<p>(2)キ (3)サ (行動観察、ノートの分析)</p>
<p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇分かったことや次の活動で取り組みたいことを振り返り、次時へつなげる。</p>	

(4) 板書計画



(5) 準備物

- 電子黒板
- 映像教材
- DVDデッキ
- 工夫カード
- 考えを書くカード